

BBC が 9・11 のビル 7 の倒壊を予め知っていた件：

英人が BBC の 9・11 隠ぺいを訴えて勝訴

【訳者注】私の経験する限り、日本人は驚くほど 9・11 の事実を知らない。まず事実を知った上で、多くの人が、このルーク氏のような“ボディブロー”を、少しずつメディアや政府に与え続ける必要がある。

現在、米統合参謀本部長マーチン・デンプシーが訪日中である。会談の内容は報道されないが、彼が、中東などで展開される米戦略への協力を求めた可能性は高く、日本が“快諾”した可能性も高い。中東での米戦略は、すべて 9・11 のウソが根拠になっているのだから、彼の日本への要請の中には、くれぐれも日本では、ここで言われている「911 真相運動」のようなものが起こらないように、という要求が含まれるだろう。アメリカと反目することはできない。しかし事實は、全国民が知っておかなければならない。当たり前のことである。

By Global Research News

March 22, 2015

By EV

Horsham, UK, 2013—Tony Rooke が市民的拒否権を行使し、それがテロリズム防止法 15 項に抵触すると主張し、義務的な 130 ポンドのテレビ視聴料を支払うことを拒否した。ルークの告訴は、WTC (世界貿易センター) ビルディング 7 の倒壊が起った 20 分前に、その事実を報道した BBC に向けられたもので、法廷はルークの主張を受け入れた。それは 9・11 への公的追及にはならなかったものの、BBC の行為を法廷が認めたことは小さな勝利と考えられる。これはアメリカでは決して報道されなかった。

「今日は、英国だけでなく、ヨーロッパ各国の多くのジャーナリストとともに、100 人以上の一般傍聴者を得て、9・11 真相究明運動にとって歴史的な日でした」と、911 真相究明運動・英国の Peter Drew は言った。

https://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=bHQPpaAkII0I

通信法 363 項のもとで、英国市民は、テレビ受像機を使うためには年毎に視聴料を払う必要がある。ルークは、次のように規定するテロリズム防止法の項目があるとして、視聴料の

支払いを拒否した——

<http://www.legislation.gov.uk/ukpga/2003/21/section/363>

人が他者に対し、それがテロリズムを目的として用いられることを意図して、またはそのように用いられることが推察できる十分な理由があつて、金銭を提供するように要請することは犯罪である。

BBC が、WTC ビルディング 7 の倒壊の報道を、それが実際に倒壊する 23 分前に行ったという事実は、英国が、9・11 の攻撃が現実になる前に、これを知っていたことを示すものである。そこに直接的に含まれる意味は、誰が現実的にテロリストであったかの議論は別として、BBC がその“テロリスト”と組んで行動していたということである。

WTC 7 (サロモン・ブラザーズ・ビル) が倒壊したという BBC ニュース報道が、まだそれがキャスターの背後に立っているときに、なされた様子を次に示そう——

<https://www.youtube.com/watch?v=6mxFRigYD3s>



まだ立ってますよ！——BBC のあの失態の瞬間

ルークは、自分がテレビを所有しながら、料金を払わずに見ていたことを認めた後、6カ月の条件付き放免となった上、200ポンドを払うように命令された。彼はそこで、ウエスト・サセックスのホーシャム地方裁判所に出頭した。

「ルーク氏は、〈テロリズム防止法 15 項〉によって弁護の根拠を固め、裁判所に対し、BBC が一つのテロ組織であることを認めるように効果的に要求し、もし彼が彼らに支払いを続けるならば、彼自身が犯罪行為を犯すことになる、と言いました」——地方判事 Stephen Nicholls 談。

ルークの裁判所への供述を引くと――

「私は、視聴料を直接の収入源とする BBC が、テロの目的を更に押し進めていると考えており、その反論の余地のない証拠を握っていますが、私は自分の立場を考えて、それは使いません。」

彼は法廷でビデオの証拠を示そうとしたが、地方判事がそれを裁判に無関係と考えたために、許されなかった。しかし BBC が WTC7 の倒壊を 20 分以上も前に報じたという事実は、十分に証拠立てられた。

彼はまた、証拠が示すように、WTC7 の倒壊が統制された解体作業だという背後の説にも言及した。追加の供述でこう述べている――

「BBC はそれが倒壊する 20 分前に、その報道をしました。彼らは前もってそれを知っていたのです。前にここへ来たとき、私はあなた（裁判官）に〈世界貿易センター・ビルディング 7 のことをご存知でしたか？〉と訊ねました。あなたは、聞いたことがあると言われました。それから 10 年たった今、それを聞いたところではないはずですが。BBC の仕事は一般大衆に情報を与えることです。特に、科学に奇跡が起こって、物理学の法則が一時停止になるようなときには。

「彼らは、我々重力の法則を信ずる者たちを、馬鹿にして笑うプログラムを作りました。アメリカの諸々の報告は、この倒壊が、統制された解体作業以外の何ものでもないことを示しています。

「私は、誰がそれを解体したのかを調べているのではありません――それは不可能です――しかし BBC は積極的にこれを大衆の目から隠そうとしました。」

ニコルズ判事からの反応は――

「あなたの言う証拠を受け入れるとしても、この法廷は、あなたが示すようなやり方で弁明を考え出す力をもっていません。」

裁判官が考慮に入れると言った証拠に照らしてみても、ルークは無条件の放免を与えられた。これはイギリスの法的慣用で、彼は「有罪だが、有罪の結果の罰を受けることはない――有罪は、彼が 6 か月間、裁判所へ連れてこられることがなければ消滅する」という意味である。彼は料金も、不払いの罰金も、払うことを要求されず、ただ法廷経費の 200 ポンドを払

わされた。

使用資料：

Alexander, Victoria. Digital Journal, Feb 27, 2013.

<http://www.digitaljournal.com/article/344438>

Duell, Mark. Daily Mail, Feb 25, 2015.

<http://www.dailymail.co.uk/news/article-2284337/TV-licence-evader-refused-pay-BBC-covered-facts-9-11.html>

Livingston, Bob. Personal Liberty, Apr 5, 2013.

<http://personalliberty.com/british-man-wins-small-victory-for-911-truthers/>

Copyright We are Anonymous, 2015.

Realities Watch, Mar 6, 2015.

<http://realitieswatch.com/uk-man-wins-court-case-against-bbc-for-911-cover-up/>